

授業科目(ナンバリング)	会計学 (CB217)			担当教員	※安部 雅隆		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
観光業に携わる企業を含め、各種企業が自身の会社を経営する上で「カネ」の動きを管理することは非常に重要である。本科目では 4 種類の財務諸表について理解し、これらの財務諸表を使って企業の安全性、生産性、収益性及び成長性を分析できる能力の習得を目的としている。なお講義内では、宿泊業や旅行業に関わる事項をなるべく取入れながら講義を実施するが、どの業界でも共通する一般的知識及び財務諸表の分析視角を習得する。							⑧⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	4 種類の財務諸表「損益計算書」「貸借対照表」「キャッシュ・フロー計算書」及び「株主資本等変動計算書」について、目的や構造を説明できる。				授業内課題 中間試験	30% 30%	
情報収集、分析力	財務諸表を使って、事業の安定性、生産性、収益性及び成長性を分析できる。				定期試験	40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業終了 15 分前に、ポートフォリオを通して小テストを実施し、内容の理解度をチェックします。また、中間テストでは、4 種類の財務諸表の目的と構造について理解しているかをテストします。定期試験では、財務諸表を利用して、安全性、生産性、収益性及び成長性を分析できるかを中心にテストします。以上のテストは全て評価手段・方法に採用されます。なお、小テストおよび中間テストでは次の講義内で答え合わせを含めたフィードバックを実施します。							
授業の概要							
前半は、4 種類の財務諸表について、特に「貸借対照表」及び「損益計算書」を重点的に、それぞれの目的や構造について講義を実施します。後半では、これらの財務諸表を用いて分析する手法を講義します。各授業で多くの練習問題を取入れ、これらの練習問題を解きながら、理解を深めていきます。また、小テストの形式で練習問題を出し、上述の通り次の講義内で答え合わせをするので、理解度の確認に役立てることができます。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。授業時に教員作成のテキストプリントを配布します。 参考書：『ビジネス会計検定試験 公式テキスト 3 級・2 級』大阪商工会議所（編）中央経済社 『ビジネス会計検定試験 公式過去問題集 3 級・2 級』大阪商工会議所（編）中央経済社 指定図書：『ゼミナール 現代会計入門』伊藤邦雄 日本経済新聞出版社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
財務諸表に関する基礎知識を前半で着実に習得しないと、後半の分析でつまずいてしまいます。着実に習得することを目的として、復習を習慣づけ、小テストで理解度を確認することを心がけてください。また授業外では個別企業の売上や株価等企業経営に関わる「数値」について関心を示し、新聞紙面やニュース等に気を配るようにしてください。また、大原則ですが無許可退室、私語等他の受講者に迷惑になる行為は厳禁です。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	会計学とはどのようなものかを理解する。財務諸表である「損益計算書」「貸借対照表」「キャッシュ・フロー計算書」「株主資本等変動計算書」はそれぞれ何を示すものなのかを理解する。	財務諸表に関する練習問題を解く。
2	財務諸表のしくみ(1)	「損益計算書」の構造を学び、売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益といった利益概念の違いを学ぶ。	損益計算書の目的に関する練習問題を解く。
3	財務諸表のしくみ(2)	「損益計算書」の売上高、売上原価、税金等のとり方を学び、「損益計算書」から各社の特徴を読み取る技術を学ぶ。	損益計算書の構造に関する練習問題を解く。
4	財務諸表のしくみ(3)	「貸借対照表」の構造を学び、そのなかの資産項目について学ぶ。	貸借対照表の目的に関する練習問題を解く。
5	財務諸表のしくみ(4)	「貸借対照表」の負債・純資産項目について学ぶ。	貸借対照表の構造に関する練習問題を解く。
6	財務諸表のしくみ(5)	「貸借対照表」から、各産業の特性、各社の特性を読み取る技術を学ぶ。	貸借対照表の事例に関する練習問題を解く。
7	財務諸表のしくみ(6)	「株主資本等変動計算書」の構造について学び、その読み方、必要性を知る。	株主資本等変動計算書に関する練習問題を解く。
8	財務諸表のしくみ(7)	「キャッシュ・フロー計算書」の構造について学び、その読み方、必要性を知る。	キャッシュ・フロー計算書に関する練習問題を解く。
9	中間テスト	財務諸表の構造を理解できているか、総括する。中間テストを実施する。	財務諸表に関する練習問題を解く。
10	中間テストフィードバック	前回に受講した中間テストの点数を周知するとともに、フィードバックを実施する。	中間テストを再度解いてくる。
11	財務諸表分析(1)	会社の安全性を分析する方法（流動比率、当座比率、自己資本比率、固定長期適合率等）を学び、実践する。	安全性分析の練習問題を解く。
12	財務諸表分析(2)	会社の効率性・生産性を分析する方法（総資本回転率、棚卸資産回転率、棚卸資産回転日数、労働生産性等）を学び、実践する。	効率性分析の練習問題を解く。
13	財務諸表分析(3)	会社の収益性を分析する方法（売上高利益率、総資本利益率、自己資本利益率等）を学び、実践する。	収益性分析の練習問題を解く。
14	財務諸表分析(4)	会社の成長性を分析する方法（趨勢分析等）を学び、実践する。	成長性分析の練習問題を解く。
15	まとめ	財務諸表とその分析について総括する。	定期試験に向けた復習をする。
16	定期試験		